

(社) 日本雪氷学会北海道支部 2009 年度事業計画 (案)

1. 支部総会の開催

日 時：2009 年 5 月 12 日 (木) 13 時 30 分～14 時 30 分

場 所：北海道大学 学術交流会館 小講堂

主要議題：(1) 2008 年度事業報告・収支決算
(2) 2009 年度事業計画案・収支予算案
(3) 支部規約の改定について
(4) 2009 年度支部役員について
(5) 北海道支部設立 50 周年記念行事及び出版について

2. 春の講演会の開催

支部設立 50 周年記念講演会に振り替え

(9. 北海道支部設立 50 周年記念行事および記念誌発行 参照)

3. 研究発表会の開催

期 日：2009 年 6 月 23 日 (火) 10 時～18 時 (時間は予定)

会 場：北海道大学 学術交流会館 第 1 会議室

4. 機関誌「北海道の雪氷」28 号の刊行

昨年度と同様に冊子体の有料化を継続する一方、電子媒体として支部ホームページ上に掲載する。賛助会員(特別・賛助)と購読会員、従来からの寄贈団体には配布希望を確認の上、無料配布を継続する。

5. ニュースレターの刊行 (2～3 回)

メーリングリストを活用して、各種行事案内や連絡事項などをニュースレターとして発行する。なお、メーリングリスト未登録会員については、従来通り郵送する。

6. 地域講演会の開催

日 時：11～12 月頃

場 所：帯広市

題 名：雪と氷のサイエンス—積雪・凍土・流氷が語る北海道の気候変動— (仮題)

概 要：雪氷を含む気象現象は、われわれの日常生活に大きな影響を与える。しかし、この現象を長期間の気候変動とみると、新たな視点で様々な分野に影響を与えることが予想される。科学的な雪氷観測が始まって以来数 10 年。諸先輩たちが積み上げてきた積雪・凍土・流氷観測から北海道を取り巻く気象現象がどのように変化してきたのか。それぞれ独自に行われた観測結果をすり合わせることにより、浮かび上がる気候変動の実像に迫る。なお、市民大学講座として一般参加者が理解できる内容とする。

講演者：中村一樹氏・青田昌秋氏・武田一夫氏

7. 理事会の開催

必要に応じて 2～3 回開催する。

7-1 第 1 回理事会

日 時：2009 年 5 月 12 日 (火) 14 時 30 分～15 時 00 分

場 所：北海道大学 学術交流会館 小講堂

8. 支部ホームページの運営

- ・ 雪氷関連情報の提供
- ・ 会員向け情報の掲載

- ・ コラムやエッセイ等の充実
- ・ 質問コーナーの開設

会員向け情報（総会や講演会，研究発表会など）を支部ホームページに掲載する毎に，メーリングリスト（hokkaido@seppy.org）を使って全会員にその旨通知するサービスを継続する．

9. 北海道支部設立 50 周年記念行事および記念誌発行

9-1 記念式典

期 日：2009 年 5 月 12 日（火）15 時 15 分～15 時 45 分

会 場：北海道大学 学術交流会館 小講堂

9-2 記念講演会

期 日：2009 年 5 月 12 日（火）16 時 00 分～18 時 00 分

会 場：北海道大学 学術交流会館 小講堂

- 講 演：1. 「宇宙で作る氷の結晶 —ISS「きぼう」での無重力実験—
古川 義純 氏（北海道大学低温科学研究所 教授）
2. 「剥き出しの地球 —南極大陸—
阿部 幹雄 氏（第 49 次・50 次南極地域観測隊員／写真家）

9-3 祝賀会

期 日：2009 年 5 月 12 日（火）18 時 30 分～20 時 30 分

会 場：北海道大学 ファカルティハウス「エンレイソウ」

9-4 記念誌発行

2009 年度雪氷研究大会（9 月 30 日～10 月 3 日：札幌）に合わせて出版予定．

9-5 サイエンスカフェの開催

一般市民が関心を持つ話題を提供し，雪氷学の啓蒙普及をおこなう．2009 年度雪氷研究大会（9 月 30 日～10 月 3 日：札幌）の少し前に開催予定．

9-6 各種薄片写真の整備

積雪や海氷・つららなどの氷，南極氷床，樹氷，着氷など様々な雪氷現象を薄片と言う形で捕え，雪氷学会会員の利用に供すると共に，広く一般市民に対する雪氷現象の啓蒙に供する目的でおこなう．電子化して記念誌に含める．

10. 社会貢献事業

10-1 雪氷災害調査チームの活動

雪氷災害発生時に随時対応する．

11. 雪氷関連行事の共催・後援（研究成果普及事業）

研究成果普及事業の一環として，他分野や他組織による雪氷関連行事を共催又は後援をする．